

議会だより



～広く市民の声を聴く～

若手就農家から 現場の声を聴く



| 6月定例会市議会の予定 | 日程 | 内容 |
|-------------|----------|---------|
| | 6月12日(金) | 開会 |
| | 6月18日(木) | 一般質問 |
| | 6月19日(金) | 一般質問 |
| | 6月22日(月) | 一般質問 |
| | 6月23日(火) | 一般質問・質疑 |
| | 6月24日(水) | 委員会 |
| | 6月25日(木) | 委員会 |
| | 6月26日(金) | 委員会 |
| | 7月1日(水) | 閉会 |

※各日午前10時開始予定です。

特集① 若手就農家から現場の声を聴く 2ページ

特集② 議会運営委員会 行政視察報告 3ページ

主な内容 2月臨時・2月定例会市議会 4ページ

一般質問 7ページ

委員会活動報告 13ページ

特集③ 文教福祉委員会 現地調査・行政視察報告 16ページ

J A岡山西青壮年部吉備路支部と広聴広報委員会との意見交換会を開催（若手農家の情熱を市政へ）

令和8年1月28日、市役所議会棟にてJ A岡山西青壮年部吉備路支部と広聴広報委員会による意見交換会を開催しました。

参加したのは、桃・ブドウ・ナスなどの栽培に励む若手農業者12名。他県からの移住者も含まれ、現場のリアルな課題と未来への提言を熱心に語っていただきました。



ナス農園

■現場から届いた「生の声」と課題

意見交換では、農業の継続と拡大を阻む具体的な壁が浮き彫りになりました。

○農地・住まいの悩み
所有者不明土地対応や耕作放棄地の再生に向けた重機確保の難しさ。また、移住者向けの空き家改修費の高騰。

○「選ばれる総社」へ
お話し住宅の充実など、就農希望者が移住体験できる環境整備の必要性。総社市の「ほどよい田舎」という魅力が、移住フェアなどで十分に伝わっていない。

○インフラ整備
渇水時や遠方水利対策としての井戸設置補助や、農業用水の確保に向けた配管敷設への支援。その他、様々な農業インフラ整備への経済的支援。

○その他
農業は水稲だけではないので、果物、野菜関係農家の意見も聞き入れてほしい。

■現場見学 輝く若手と直面する物価高騰

3月16日には、福井新田（ナス）、秦（ブドウ）、井尻野（桃）の各農園を訪問しました。

生産コストの高騰に苦心しながらも、高品質な作物づくりに励む生産者の姿や、就農を目指す岡山西青壮年部吉備路支部の若手熱意を肌で感じることができました。



ブドウ農園

また、この度の農業者向け物価高騰対策支援事業は大変ありがたいとの声もありました。

今回の意見交換を通じ、農業インフラの整備や移住・創業支援の重要性を改めて認識しました。市議会として、総社市の基幹産業である農業のさらなる発展と、次世代が夢を持てる環境づくりに向け、今後も全力で取り組んでまいります。

（竹下かなこ・大月 真一）

議会運営委員会は令和8年1月29日・30日に行政視察を行いました。

滋賀県彦根市議会

彦根市議会では、平成29年8月に滋賀大学経済学部と連携協定を締結し、令和3年のデータサイエンス学部設置を機に、大学全体との連携へと拡大しています。具体的な取組として、学生との意見交換会では、進行役やタイムキーパーを学生が担うなどの工夫が見られました。議会側もインターンシップの受け入れや、広聴広報活動への学生の意見の反映、さらに議員による大学授業の聴講など、積極的にアプローチしています。本市においても岡山西青壮年部との連携は今後の検討課題となりますが、その手法は大いに参考になりました。

また、市民に開かれた議会を目指し、「議場開放促進委員会」「広報委員会」「広聴委員会」の3委員会に役割を明



滋賀県彦根市議会

確化した上で、主体的・継続的な活動を展開しています。子ども議会や議場コンサートや公民館等に直接出向いのシール式アンケートの実施など、市民の声を聴く姿勢が徹底されていきました。彦根市議会が「いかに議会に興味を持ってもらうか」に注力する姿からは、特に『若者』の参画・関心を高める取組を本市議会でも推進していく必要性を強く感じました。

大阪府堺市議会

堺市議会では、議会改革を継続的かつ計画的に推進するため、議会運営委員会とは別に「議会力向上会議」を設置し、積極的な議論を重ねています。各会派や会派に属さない議員の代表で構成されるこの会議では、これまで一問一答方式の導入、議会報告会の開催、議会基本条例の制定などが議論されてきました。特筆すべきは、議会として「ロードマップ」を策定し、検討項目や審議スケジュールを明確化することで、設定期間内に結論を導き出す仕組みを構築している点です。

同会議はあくまで確認・合意形成の調整の場であり、最終決定は議会運営委員会で行われます。本市議会の全員協議会に近い組織と考えられますが、定期的な開催により、議論を十分尽くす姿勢は非常に参考になりました。また、平成25年からは本会



大阪府堺市議会

議に続き、委員会のインターネット生中継及びアーカイブ配信（録画配信）を実施しています。配信映像は不規則発言の加工や切り取りなどの2次利用を防止する処置が施されるなど、個人情報取り扱いにも特段の配慮がなされています。

委員会中継の導入については、課題もありますが、設備機器の整備を含め、今後実施に向けたルール作りを並行して研究・検討していく必要があると改めて認識しました。



桃農園

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[令和8年1月～令和8年3月分]

(単位：円)

| 支出区分 | 支出年月日 | 支出金額 | 支出先等 |
|---------|-------|--------|----------------|
| 土産等 | 1/7 | 4,142 | 行政視察先（議会運営委員会） |
| 土産等 | 2/26 | 3,487 | 行政視察先（文教福祉委員会） |
| 4月からの累計 | | 78,462 | |

2月臨時市議会

2月臨時市議会が2月10日に開会し、報告2件、承認1件、議案1件を審査しました。

議案第1号 令和7年度一般会計補正予算(第10号)

重点支援地方創生臨時交付金事業として、物価高騰やエネルギー価格高騰に影響を受けている医療機関等の負担軽減・安定的なサービス提供の支援・農業者の負担軽減・事業継続の支援を図るための支援金給付や、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている家計支援・地域経済の活性化を図るプレミアム付商品券発行に係る補正予算を賛成多数で可決しました。

2月定例市議会

2月定例市議会が2月24日に開会し、議案40件、同意8件、意見1件、委員会発議1件を審査、賛成多数で可決され、3月19日閉会しました。

令和8年2月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Rows include 報告第1号, 報告第2号, 承認第1号, 議案第1号.

令和8年2月臨時総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table with 17 columns for council members and 1 row for 議案第1号. Includes a legend for voting symbols.

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退席 欠:欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。三宅啓介議員は、議長のため採決には加わりません。

令和8年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Rows include 議案第2号 through 議案第24号.

令和8年度予算

一般会計343億8千万円、特別会計163億7千6百万円、企業会計64億5659万円。主な内容は次のとおり。

一般会計歳入

主な財源は、市税88億6009万円、繰入金30億千9百万円、地方交付税81億円、国庫支出金63億754万円、県支出金27億4107万円、地方消費税交付金18億円、市債15億5660万円など。

一般会計歳出

総合的な政策関連は、ふるさと納税返礼品6千7百万円、吉備路マラソン大会共催負担金3千3百万円など。

子育て支援・教育関連は、市内3中学校・義務教育学校の体育館及び武道場へ空調設備を設置するための費用3億1060万円、きびじアリーナほか空調工事設置工事の工事請負費として7億1267万円、地域部活動支援員、学生アシスタント等の報償費と

して1309万円など。

医療・福祉関連は、私立保育所運営委託料25億6044万円、就学前教育・保育施設整備交付金4億6885万円、障害福祉サービス給付費18億6569万円など。

環境・衛生関連は、インフルエンザなど定期予防接種手数料2億3223万円、健康診査委託料6906万円、ごみ収集委託料2億3878万円など。

農林業・商工観光関連は、そうじゃ地食べ公社運営補助金3千万円、農業集落排水事業補助金1億2631万円、新規就農総合支援事業補助金2085万円など。

特別会計予算

国民健康保険特別会計予算64億5千万円、後期高齢者医療特別会計予算14億9千6百万円、介護保険特別会計予算72億3千万円、国民宿舎事業費特別会計予算12億円、主な歳出として、国民宿舎指定管

理委託料6億円、工事請負費4億5872万円、修繕料9545万円など。

同意・意見

固定資産評価審査委員会委員に、秋山伸氏、西本憲次氏、横浦貴之氏、横田修氏、渡邊康晴氏を選任することに同意。人権擁護委員に高谷智子氏を推薦する意見について、推薦に同意。

教育長に小原敏彦氏を任命することに同意。

教育委員会委員に児嶋塊太郎氏を任命することに同意。

副市長に吉田理子氏を選任することに同意。

委員会発議

後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書を全会一致で可決しました。

全ての採決結果については、次ページの付議事件採決一覧表をご覧ください。

問 スクールバスを運行し市民も利用できる新たな交通インフラにできないか

答 スクールバスの運行はありだと思う。学区にとらわれない柔軟な対応をしたい



おお た ぜん すけ
太 田 善 介

学校適正化について

問 各幼稚園、各小学校の生徒数、学区の適正化の現状はどうか。

教育長 小規模特認校で生徒の平準化を行っているが、学区の線引を変えるのは現時点では考えていない。

問 今後の学校や幼稚園、保育園の統廃合についていつどのように行っていくのか計画策定などは行っているのか。

教育長 現在は考えていない。

問 学区を再編成し、大規模校から小規模校へ生徒の流動化を促す時期に来ているのではないか。

教育長 学区の弾力化を設けている。学区の再編成は現在考えていない。

市主導の有償ボランティア制度について

問 市が有償ボランティアを募集する事例はどのくらいあるのか。

市長 部活動地域移行の指導者だけである。

問 地域の課題解決が必要な事業を総社市公式LINEなどを利用して若い世代も含め全市的に総社市に有償ボランティアが根付くようなシステム構築などを行ってはどうか。

市長 実にいいアイデアであるので、前向きに検討していく。特に若者にトライしてもらいたい。

問 現在の多職種就職説明会に加え、分野別の就職説明会を行ってはどうか

答 人手不足で悩んでいる事業者のため、それぞれのブースに分ける方法を検討する



やま な まさ あき
山 名 正 晃

廃棄物処理について

問 リチウムイオン電池回収時の、吉備路グリーンセンターでの火災発生状況、回収方法の周知、各ごみ集積場での啓発実施状況は。

市長 回収時は今年1月末時点で火災はなく、クリーンセンターでは破碎処理機で昨年度24件発生しているが、原因は不明である。

環境水道部長 資源ごみとして乾電池等と合わせ専用コンテナで回収している。現在設置している看板表記内容が不足しているのでシール貼り付けで速やかに対応していく。

地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊の活用、検討状況、おためし、インターン制度の検討状況はどうか。

市長 移住をテーマに制度活用を検討する中で、最長3年間では短すぎるのでは、ということで総務省の移住コーディネーター制度を活用し、昨年5月に採用に至る。他のジャンルについてストライクゾーンを決めきれないのは否めない事実である。

市職員の働く環境について

問 市職員の選択的週休3日制の導入検討状況および副業、兼業の考えはどうか。

総務部長 新庁舎での働き方が変わり、窓口業務の落ち着く秋頃からまずは時差出勤、フレックスタイム制度の導入を検討している。

市長 副業、兼業については人材確保、働きやすさ、生きがいなど検討に値すると思う。

| 番 号 | 件 名 | 結 果 |
|--------|--|-------------|
| 議案第25号 | 令和7年度総社市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第26号 | 令和7年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第27号 | 令和7年度総社市水道事業会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第28号 | 令和7年度総社市下水道事業会計補正予算(第1号) | R8.3.5 議案撤回 |
| 議案第29号 | 令和8年度総社市一般会計予算 | 原案可決 |
| 議案第30号 | 令和8年度総社市国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第31号 | 令和8年度総社市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第32号 | 令和8年度総社市介護保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第33号 | 令和8年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第34号 | 令和8年度総社市水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第35号 | 令和8年度総社市工業用水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第36号 | 令和8年度総社市下水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第37号 | 市道の路線認定について | 原案可決 |
| 議案第38号 | 市道の路線変更について | 原案可決 |
| 議案第39号 | 市道の路線廃止について | 原案可決 |
| 議案第40号 | 総社市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議案第41号 | 令和7年度総社市下水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第42号 | 令和8年度総社市一般会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 同意第1号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第2号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第3号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第4号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第5号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第6号 | 教育長の任命に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第7号 | 教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 同意第8号 | 副市長の選任に関する同意を求めることについて | 同意 |
| 意見第1号 | 人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて | 推薦に同意 |
| 議案乙第1号 | 後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書について | 原案可決 |

令和8年2月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

| 議案等 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 | | | | | | |
|--------|------------------------|---------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|---------|--------|--------|--------|------|
| | 川 仁宣 | 竹 下 かなこ | 柴 田 敏 | 大 月 真一 | 林 恭一郎 | 山 名 正晃 | 太 田 善介 | 荒 木 将之介 | 小 野 耕作 | 山 田 雅徳 | 溝 手 宣良 | 三 上 周治 | 菅 野 哲也 | 岡 崎 亨一 | 深 見 昌宏 | 高 谷 幸男 | | 小 西 利一 | 津 神 謙太郎 | 村 木 理英 | 加 藤 保博 | 剣 持 堅吾 | |
| 議案第2号 | モーターボート競走の施行について | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第6号 | 総社市きよね夢てらす指定管理者の指定について | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第19号 | 総社市給水条例の一部改正について | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第20号 | 総社市公共下水道条例の一部改正について | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第29号 | 令和8年度総社市一般会計予算 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。三宅啓介議員は、議長のため採決には加わりません。

問 4月から導入の、「子ども・子育て支援制度」について市長の考えはどうか

答 被保険者にとって負担が重たくなることは心苦しいが、導入は致し方ない



しば た 敏

子ども・子育て支援について

問 この制度で保険料はどうなるのか。

市長 導入で新たな保険料が発生するが、国の試算で国民健康保険の場合、1世帯当たり月額300円の負担増となる。

問 国民健康保険料の軽減はできないか。

市長 保険料負担を総社市で補っていくことは非常に難しい。ただ、国策として導入される制度で、運営側の負担が増えることは、国に対して訴えていくテーマであると思う。

投票率の向上、投票所の増設について

問 選挙での投票率が下がっている傾向にあるが、総社市の過去の選挙の投票率は。

選挙管理委員会委員長 2月の衆議院選挙は52.34%の投票率。直近3回の比較では、総選挙の投票率の向上が見られるが、決して高い投票率ではない。

問 市民の選挙への関心を高め、投票率を向上させるための施策を行っているか。

選挙管理委員会委員長 HPや駅に大型看板を設置、選挙公報を各戸へ配布、中高生に選挙の大切さを伝える出前講座など。

問 地域に期日前投票の移動投票所などの増設は考えられないか。

選挙管理委員会委員長 投票率の向上や選挙人に寄り添う取組として意義があることと考える。選挙管理委員会の人的体制を整えることが重要と考える。

問 高梁川の堤防整備未着手の部分を今後どうするのか

答 危険視されている箇所は県に対応を要望する



おお つき しん いち

消防団の活動状況と機能向上について

問 消防団の活動状況と課題はどうか。

消防長 出動実績は年平均70回程度で、課題は団員数減少と高齢化による団員への負担増及び災害時の動員力・対応力の維持。

問 ドローンを装備することで、団員の負担軽減と安全確保が図れないか。

消防長 重要性は充分認識しているが、消防団への導入には課題が多く、消防本部ドローンと消防団との連携で安全を確保していく。

地域活性化について

問 本市周辺部の人口減少地へ戸建ての市営住宅を新設できないか。また、「お試し住宅」を就農に適した地区に増設できないか。

市長 「お試し住宅」の追加は移住促進への一つのビッグチャンスとなるので検討したい。ただし、市街化調整区域の空き家は「お試し住宅」として使用できないので移住検討に供する方法を含め検討する。

問 市民提案型事業補助金において好成果事業へは5回の支給限度が延長できないか。

市長 更なる継続は不平等となるので支給は5回で自立願いたい、少し検討する。

問 山林整備で山間部の振興はできないか。

市長 山田、新本地区で間伐を実施し他でも検討中。昭和五つ星学園の子どもたちとの森作り活動も更にできる範囲で進めたい。

問 中学校部活動が地域展開し認定クラブ化していくことでどんなメリットがあるか

答 国や県の補助による財政援助が受けられる



あらか まさの すけ

問 中学校部活動の地域展開(地域移行)の進捗はどうか。

市長 4つのフェーズに分けて進めてきた。令和8年度からは第4フェーズとして、土日の本格移行を進めていきたい。

教育長 これまでに12の部を移行し5つの地域クラブを設置した。本市独自の指導者登録制度には98名の登録があり、70名を学校部活動や地域クラブに配置している。在籍校に希望する部がない場合に他校の活動に参加できる拠点校方式を4種目に増やした。

問 国が示すガイドラインはどうか。

教育長 令和13年度末までに休日の活動は原則全て地域展開(地域クラブ化)、平日についてもできるところから進めていこうというものだ。また自治体による地域クラブ認定制度も示された。

問 地域クラブが認定を受け国や県の補助を受けた場合、地域展開に係る費用や保護者の負担などの試算はどうか。

教育長 令和8年度予算で言うと歳出3,000万円に対し新設された補助金が600万円程度、既存の補助が347万円、補助金の合計は1,000万円程度になると考えている。保護者負担について、移行過渡期である現在は地域クラブの参加費を求めていないが、今後は持続可能な運営体制構築の観点から、費用負担の在り方について検討していく。

問 図書館の階段に安全のために子ども用の手すりを付けてはどうか

答 設置する



たけした かなこ

子どもの図書館利用について

問 中高生の活字離れが指摘されている。文部科学省の調査では幼少期に読み聞かせの経験が多い子どもほど学齢期における読書量が多いことが示されている。また、未就学期から図書館に親しんでいる子どもは本を特別なものでなく身近な存在として感じられるようだ。図書館での読み聞かせなどのイベントの参加状況、またその効果についてはどうか。

市長 令和6年度は延べ780人(子ども440人)。春・夏休みの映画会は371人(子ども250人)。本に囲まれた環境で本への興味や関心がより深まっていくと考える。

問 本の選定はどこに重点を置いているか。

市長 幅広いジャンルであること、子どもが心惹かれる本であること、絵本の場合は絵と文のバランスが良いこと、子どもの想像力や、思考力を伸ばすということに重点を置いて司書が選定している。

問 図書館内の緊急時の避難経路はどうか。

市長 平成27年に3階までのエレベーターを設置し、2階が子どもスペースとなっている。南側ベランダを通り東側にある屋外階段を下りていただく。1階は玄関の他に南側、西側に非常口がある。有事には職員が誘導する。

問 道路幅が狭い住宅街をランナーが走るときの車両規制はできないか

答 2013年に地元の人と協議して自主規制にしている。今後の大会運営で決めていきたい



つがみ けんたろう 津神謙太郎

そうじゃ吉備路マラソンについて

問 道路幅が狭い住宅街をランナーが走るときの車両の規制はできないか。

市長 2013年に地元の人と協議して自主規制にしている。今後の大会運営で決めていきたい。

問 コース外に出る案内図等を準備できないか。

市長 各町内会に規制外に出る方法を大会ホームページ等で伝えている。

公共施設の建て替えについて

問 小学校の建て替えの計画はあるのか。また、建て替えの時期は考えているのか。

教育長 市内の多くの学校が築40年以上であり、総社東小学校については令和10年に教室が不足するので増築を考えている。長寿命化を検討するための調査予算を上げている。

問 公民館の建て替えの計画はあるのか。時期は考えているのか。

市長 東公民館については、規模や時期については地域の皆さんと協議しながら検討したい。

問 本来は「注意」の訓告に対し、別条例の重罰を科す不透明な今の運用は直ちに直すべきではないか

答 法的整合性はあるが不公平感などの課題も認識している。時代に即したルール再編を検討する



やま だ まさ のり 山田雅徳

職員処分の適正化と適正手続の確立について

問 文書訓告はミスを正し再発を防止するための教育的指導である。それに対し、本来は別の目的で制定された市独自のコンプライアンス条例第9条を持ち出し、懲戒処分に匹敵する「1年間の昇給・昇格停止」という重い制裁を科す今の運用は、整合性を欠き不適切ではないか。

市長 当該規定は、地方公務員法第23条に基づく人事評価の評価基準として規定しており、法的整合性はあると考えている。

問 懲戒処分並みの経済的制裁を伴いながら、対象職員には言い分を聞く「弁明の機会」すら与えられていない。手続きを簡略化しながら罰則だけは懲戒並みに与える今のやり方は、市が掲げる適正な手続きと言えるのか。

市長 文書訓告は地方公務員法の懲戒処分に当たらないため、弁明の機会は設けていない。しかし、この運用が職員の士気に与える影響や不公平感是否定できない。

問 本来の目的とは違う「別条例」の罰則部分だけを無理に適用しており、運用実態には問題がある。職員や市民が納得できる、透明なルールへと作り直すべきではないか。

市長 一考の余地はある。実態を洗い出し、時代に合った公正なルールとなるよう検討し直したい。

問 市中心部にも路側線が消えかかっている道路や凸凹のままの道路が多いと思うがどうか

答 市中心部の市道の劣化について、計画を立て予算化も含めた協議を進める



むら き り えい 村木理英

道路行政について

問 総社市内の生活道路は、充実していると考えているか。

市長 充実していないが、充実に向けて努力している。

問 センターラインや路側線が消えかかっている道路、陥没したままや凸凹のままの道路が多いと思うがどうか。



市長 危険箇所が多いと認識した。地域の要望をお聞きしながら計画的にやっていきたい。

問 交通量が多いにも関わらず道路幅が狭い箇所について、拡幅する考えはないか。

市長 用地買収や家屋移転が伴う場合は、多額の財源が必要なことから、土木担当員の要望をもとに現地調査を行い、計画的に進めたい。

問 稲作農家の大規模化、集約化についてどこまで進んでいるのか

答 徐々にではあるが進んでいる



こ に し り いち 小西利一

問 県の補助事業条件に合わない小規模事業への補助はできないのか。

市長 耕作地の畦の除去について50アールに満たない部分について市独自の助成を考えていきたい。今年度内に制度化を目指す。

問 持続可能な農業を行っていくための支援について、後継者に引き継ぐ際、農機具購入時に一部補助ができないか。

市長 個人の資産形成にかかる問題なのでよく検討すべきである。

問 農業従事者に対して経費補助を継続して行えないか。

市長 物価対策として経費補助を始めたばかりなので申請の様子を見て今後の検討課題としたい。

問 イノシシの防御柵の申請を一戸でもできるように条件を見直してもらえないか。また柵の長さも200メートルから50メートルにならないのか。

市長 昨年度3戸から2戸へ変更したばかりなので今年度の申請の様子を見て検討したい。



（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※二次元コードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※二次元コードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

問 地食べ公社の経営状況はどうか



かやのてつや
萱野哲也

答 米価の高騰もあり大変厳しい状況だ

問 令和2年からの米取引は、公社は人件費も乗せられず利益の出ない契約を総社市と結ばれている。公社に無理させていないか。

市長 担当部長から答弁させる。
問 双方の契約が適正なものだったのか。公社の1社随意契約で総社市と公社代表片岡氏が公社に利益の出ない契約をしている。
市長 作為的なものはない。

問 契約書には「経済の著しい変動により契約単価が不当となったときは契約変更できる」となっているのに6年度米価高騰でヤバい状況なのに総社市と公社は協議すらしていない。公社に利益の出ないような契約を当時の理事長片岡氏はしている。
市長 背任とか思っていない。

問 その補填は総社市の税金(そうじゃのお米支援補助金)だ。いかがなものかと思う。
市長 背任だとか考えていない。

問 日本一やさしい市役所について、その主たる対象者は誰で「やさしい」とは具体的にどういったことか



みづのぶよし
溝手宣良

答 全ての総社市民が対象で、特に本当にお困りの方だ。「やさしい」とは相手への思いやりなどである

市役所のDX化について

問 マイナンバーカードの総社市内普及率はどうか。また業務の効率化や住民サービス向上のためにも全員への普及を目指すのか。
市長 令和8年1月末で78.9%である。色々な考え方もあるので100%は目指さない。

問 公用車の管理もDX化してはどうか。
市長 していきたい。

問 市所有のバスの管理はどうか。
総務部長 シルバー人材センターから派遣された運転手と職員とで朝夕共に時間外でも行っている。

市長の政治姿勢について

問 吉備路マラソンの感想はどうか。
市長 多くの参加者が楽しめた。一時SNSが吉備路マラソンだらけになったのでPRがすごくできた。沿道には多くの方が来てくれたので地域の活性化に繋がり、市民に元気が出たのではないか。

問 全市的な効果とは言い難い。むしろ分断や疲弊が進んでいるのではないか。
市長 課題に取り組んでいきたい。

問 物価高対策がなぜプレミアム付商品券だったのか。買えない、買いに行けない、使えない等の方々への配慮がなく大変残念だったが、市長の考えはどうか。
市長 全員に行き渡るように購入サポート等を考えていきたい。

総務生活委員会

《2月臨時会》

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では承認1件、議案1件であり、全て原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

● 令和7年度総社市一般会補正予算(第10号)(議案第1号)(所管部分)

問 重点支援創生臨時交付金について、歳入が当初よりも増額となった理由は何か。
答 食料品の物価高騰などに対する特別加算が配分されたため増額となったものである。

《2月定例会》
当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案10件、同意8件、意見1件であり、全て原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

● 令和7年度総社市一般会補正予算(第11号)(議案第22号)(所管部分)

問 交通対策経費について、

事業見直しに伴い設計等委託料を減額しているが、その内容はどうか。
答 当初、服部駅前トイレを設置するために予算計上していたが、豪渓駅前の仮設トイレ設置に流用し、その残額を減額補正するものである。

● 令和8年度総社市後期高齢者医療特別会計予算(議案第31号)

問 歳入予算額が前年度から約27%上がっているが、一人当たり年額どの程度上がっているか。また、その要因は何か。
答 保険料を決定しているのは岡山県後期高齢者医療広域連合であり、総社市ではないため算定が難しいが、令和8年度と令和7年度の歳入予算の差額と被保険者の見込み数をもとに単純計算すると、一人当たり約2万千円の増額と推測される。増額の要因としては、歳入予算の計算のもとになる岡山県後期高齢者医療

広域連合から示された賦課総額の概算額が、診療報酬改定や、令和8年4月から始まる子ども・子育て支援金が、保険料に上乗せして徴収されることにより増加していることなどが考えられる。
■ 一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会
◎ 令和8年度一般会計予算(議案第29号)(所管部分)

問 旧雪舟荘の解体について、どのようなスケジュールになっているか。
答 令和8年度の前半に解体設計とアスベスト調査、後半に解体工事を行い、更地になったら売り払いに向けて事務を進めていく。

問 倉敷中央病院往復便運行委託料について、昨年度と比べて増加している理由は何か。
答 令和7年11月27日に中国運輸局がタクシーの公示運賃の改定を行ったので、それに準じて予算計上したためである。

◆ 2月定例委員会及び2月定

例市議会会期中の委員会です。管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項
・ ファシリティマネジメントについて

報告事項
・ 第3次総社市総合計画基本計画の策定状況について

- ・ 総社市職員カスタマーハラメント対策について
- ・ 総社市総合交通戦略の中間見直し
- ・ 林野火災注意報及び林野火災警報の新設について
- ・ 空家等活用促進区域の設定について
- ・ 指定金融機関の評価について

文教福祉委員会

《2月臨時会》

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では議案1件であり、原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

● 令和7年度総社市一般会計

補正予算(第10号)(議案第1号)

問 本所管の関係では5つの事業があるが、全て5月1日からの申請受付となるのか。

答 全て5月1日からの申請受付の予定である。

《2月定例会》

当委員会が審査した案件は、2月定例会では議案13件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。
● 総社市学校給食費の管理に関する条例の一部改正について(議案第9号)

問 賄材料費の仕入れ額を抑えることが重要と考えるが、一般的な卸業者から仕入れるのとそうじゃ地食べ公社から仕入れるのでは仕入値に差はあるか。

答 そうじゃ地食べ公社からも野菜等を納入しており、一般的な卸業者から仕入れるよりも金額はやや割高な傾向にはあるが、学校給食の地産地

消の取組として納入している。

● 総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について(議案第11号)

問 山手小学校区放課後児童クラブは定員がかなり増えることになるが、施設や職員はどのように確保するのか。

答 山手小学校の図書館と旧パソコン室であった部屋を放課後児童クラブ施設として改修し、それに伴い図書館は別の場所に移設する。職員の増員については、現在定員70人を超過して3支援単位で運営しており、令和8年度からも同じく3支援単位での運営となることから、今のところ必要ないと認識している。

■ 一般会計予算審査特別委員会
会文教福祉分科会

◎ 令和8年度一般会計予算(議案第29号)(所管部分)

問 保育所整備について、令和9年度開園予定の整備の進捗はどうか。また、新設保育所開設によって、どの程度待

した。

主な内容は次のとおりです。

● 総社市農業集落排水処理施設条例の一部改正について(議案第21号)

問 なぜ人数制をやめるのか。

答 合併時に山手・清音地区は従量制の算定方式を適用することとしたが、旧総社市では人数制を適用していたものであり、今回統一化を図るものである。

● 令和7年度総社市一般会計補正予算(第11号)(議案第22号)(所管部分)

問 有害鳥獣対策事業で地元協議がまとまらなかったというのはどういう状況か。令和8年度には解消できる見込みか。

答 約2・2kmにわたる大規模な防護柵を設置する計画だったが、土地の所有者が複数おられそれぞれの協議がまとまらなかったものである。生産組合等とも現在調整中であり、解消できる見込みである。

機児童が解消される見込みか。

答 来年度から詳細設計や建設工事を行う予定で、現在は入札に向けた準備を行っている。また、用地買収や造成等も合わせて進めている。新設保育所は90人定員であり、加えてひかり保育園が移転新築し現在の90人定員から百十人定員となることから、合わせて百十人の定員増に伴う待機児童の解消を見込んでいる。

問 総社東小学校について、

今回プレハブのような仮設ではなく本格的な増築を行うという事は、当面校舎の建て替え等は検討していないのか。

答 今回の増築にあわせて屋上防水や外壁塗装といった長寿命化を提案している。建て替えについては現在計画しておらず、長寿命化することで現在の建物を継続して使用していきたいと考えている。

問 部活動改革コーディネーターを新規で配置するとあるが、どういった人を想定して

いるのか。

答 部活動の改革、地域展開を横断的に発信する専門職を配置する予定である。具体的には、学校、自治体、地域を結ぶ窓口調整役として活躍していただくとともに、教員や部活動指導者、保護者や地域の方々との連携等も担っていただくと考えている。

◆ 2月定例会委員会で所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

・ 不登校対策について

・ 学校自由枠交付金について

報告事項
・ 中学校体育館の空調設置について

・ 令和8年度新設保育所の状況について

産業建設委員会

《2月臨時会》

当委員会が審査した案件は、2月臨時会では議案1件であり、原案どおり可決しました。

のとおりです。

調査事項

・ 林野の管理について

・ ごみ収集の現状について

報告事項

・ そうじゃのお米支援補助金について

・ 都市計画マスタープランについて

・ 水道料金等検討委員会の審議結果について

・ 第3次総社市環境基本計画(素案)について

・ 経営改善計画書について(一般財団法人そうじゃ地食べ公社)

・ 第三セクター等経営健全化方針の策定について

・ 一般財団法人そうじゃ地食べ公社運営補助金交付要綱について

・ 総社市水道事業経営戦略について



当委員会が審査した案件は、2月定例会では議案19件であり、全て原案どおり可決しま

《2月定例会》

◆ 2月定例会委員会で審査した案件は、2月定例会では議案19件であり、全て原案どおり可決しま

昭和五つ星学園義務教育学校

令和8年2月16日、文教福祉

委員会で「昭和五つ星学園義務教育学校における英語特区」について現地調査を行いました。同校では、英語の授業時数を一般の小中学校より大幅に増やす一方、他教科は内容を工夫し、学習の遅れが生じないよう取り組んでおり、校内放送やあいさつも英語で行われるなど、日常の中で自然に英語に親しめる環境が整えられていました。授業では児童が自然に英語で受け答えし、英語力の向上と発言力や学ぶ姿勢が育まれ、他教科にも良い影響があるとの説明を受けました。今後の教育を考

(林 恭一郎)



昭和五つ星学園義務教育学校

アートチャイルドケアみんなプラザ早島

視察の概要

令和8年2月19日、文教福祉

委員会は、早島町の「アートチャイルドケアみんなプラザ早島」を視察しました。早島町役場では、副議長をはじめ関係の皆様にご温かく迎えていただき、事前提出の質問にも丁寧にご回答いただきました。

切れ目ない支援を1か所で

同施設は、認可保育園・児童館・子育て支援センター・児童発達支援を同一施設の敷地に集約した複合施設です。妊娠時から18歳まで、年齢や状況に応じて必要な支援につながる「切れ目のない導線」が整えられている点が大きな特徴です。

子ども目線の工夫と安心の備え

地元素材や落ち着いた室内デザイン、発達支援での観察配慮など、安心して過ごせる

工夫が随所にありました。卓球台や中高生向けのドラム配置など、居場所づくりも印象的で、防災備蓄や避難導線の確保も徹底されていました。



アートチャイルドケアみんなプラザ早島

総社市に活かすために

地域と連携した定期イベントも行われ、地域全体を支える拠点として機能しています。利用者の高さがうかがえます。今回の学びを、総社市でも連携強化や居場所づくり、防災の視点を入れた拠点づくりに活かし、安心して子育てできる環境整備につなげてまいります。

(林 恭一郎)

編集後記

広聴広報委員会では、市民の皆様・各団体の皆様との幅広い意見交換会を実施し、市政に反映したく活動しております。

11月には、二十才の集い実行委員会の方々、1月には、J A岡山西青壮年部吉備路支部の方々との意見交換会を行い、若者の考えと私達の考えに差があること、農業後継者の方々の農業に対する思い等をお聞きしました。皆様方のご意見を今後の活動に活かしていきます。

広聴広報委員会の特徴を活かした委員会活動で、総社市の発展に結び付けたいと思います。広聴広報委員会は「広聴」を大切に活動してまいりますので、よろしく願います。

(川 緒 仁宣)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 三上 周治
- 副委員長 川 緒 仁宣
- 委員 竹下 かなこ
- 委員 柴田 敏
- 委員 大月 真一
- 委員 林 恭一郎
- 委員 溝手 宣良

